

年懸案であつた地方財政調整
交附金制度を急速に設定する様
に左の如き陳情書を總理大臣、
内務大臣、大藏大臣、貴衆兩議
院、政黨本部に陳情する事を協
議する筈である。

陳情書左の如し

地方財政調整交附金
制度設定の議に付陳情
今回内務省の立案に係る地方
財政調整交附金制度は實に地
方財政匡救上唯一無二の剝切
なる良方策と認められ候由來
都市住民と農村住民との間に
租税負擔の著しき不公平を見
るに至りたるは現代に於ける

交附金制度を急速に設定する様に左の如き陳情書を總理大臣、内務大臣、大藏大臣、貴衆兩議院、政黨本部に陳情する事を協議する筈である。

陳情書左の如し

地方財政調整交附金
制度設定の議に付陳情

今回内務省の立案に係る地方財政調整交附金制度は實に地方財政匡救上唯一無二の剝切なる良方策と認められ候由來都市住民と農村住民との間に租税負擔の著しき不公平を見るに至りたるは現代に於ける

石城郡町村長會で
交付金の陳情書

政府貴衆議院上提出

不況君田林長會は三月一日午前十時から平町役場に開き副會長小名濱町長鈴木榮氏の後任を選舉した後全國町村長會於ける多年の懸案であつた地方財政調整交附金制度を急速に設定する様に左の如き陳情書を總理大臣、内務大臣、大藏大臣、貴衆兩議院、政黨本部に陳情する事を協議する筈である。

機を練上方法

軍來平を機に
丸祭縲上げ

は最も當を得た事であるといふ意見が絶對的にあつたので三日二日豫算町會終了と同時に總辭職をなす事に決定、選舉は三月下旬行はれる事になつた。

利となつた譯である。而して管内署員に訓示をなし
惡政水道料値上げ
結局町會を通過せり

ハガキ（投書）町民に檄す（上）四倉小學校増築問題
一町民として侧面から見、全町民に檄し度必要に迫られてゐるが故に、町會再度開き、自説を覆えしてゐるよ此の寒空にそれ程かしい難されて言議員の動

設計たる理事者、政事の最始の計画を徹回しらぬ愚計策を賛成する豈熱の空言と云ふも言でないと信する。我が町財政疲弊を憂ふ我々町民の誠に感謝のあたわざるものである共々の精神たる信實とする愛町的精神なるやだ疑念を抱かざるを得るのである。

平町會議冒總辭職

的宣傳をなすべく目下それ
すと共に竣工落成式を期し大
会があつたが、青沼町長としては
この警告をうけ容れられざる情
實があるものゝ如く密に當惑す
てある。

▲ 家畜映畫會 家畜(豚)
傳染病豫防宣傳畫會は左の日割
で開催する。

△三月七日 江名町江樂館
△八日正午 小名濱町磐城座
△九日 植田町菊多座

植田檢事正 署員に訓示

に選舉繰上げす

に選舉繰上げす

一萬五千圓を以て匡救土木事
として起工工事中であつたが
地方は炭礦失業群の多い土地
稼功し漸く地方物産運搬上
便が除去され地方產業開發に
かけに豫想外に工事進捗しこの

平町四町目萬屋自動車部事鈴木
與一方貨物自動車に木材を滿載
し運轉手門馬勇が操縦二十七日
午後五時四十五分頃田村郡から
平町に来る途中川前村大字江田
地内縣道で雪解けのため地盤が
緩んでるた處に差しかゝり道路
が崩れ自動車は四十尺の夏井川
上流に轉落運轉手門馬勇(二二)
は肋骨數本を折り生命危篤、助
手渡邊質(二五)も負傷したが奇
怪的に生還(よみがへ)り上りこ。

昇げる必要があるか
重大であり、熱を昇らぬ問題であるとすら
冷靜になつて一考せぬ問題であるとすら
私は諸君を自治体に開
めた事はまさか熱の
を云わせすべく清き一言
たのでわ無い事を言語
く。何と町民諸君もや
ある想ふ。然らば何
であるかと云ふに已が
員町議であり美事な
是もまことに居る事だ
運轉手助手重

▲郡下武道大會　大昌
本武徳會福島支部半分會では三月十五日平町松ヶ岡公園忠魂碑前で郡下武道大會を開催優勝者争奪戦を行ふが、種目は剣道、柔道、弓道、銃剣術等で、一時、各重組三名迄の選手が地方に於く民合同で歓迎會を開く等に決るものとの如くである。

道路を開鑿中。遅くも三月二十日頃までにはバス敷も終了の豫定で、櫻花時の賑ひを今から豫想されるが、尙この完成により田中智學氏等が努力を續けてゐる源義家神社の建立並に同附近一帯の一大遊園地設定等も促進さるべく非常に期待されてゐる。尙赤津勿來町長も道路完成に先立ち附近山林の美化作業を開始する。町會議員中正義をモットーとする硬骨派の人々は密かに不愉快を抱いてゐるが、最近に至りて町長の行政が人事的に甚だしく不公平になつて來た傾きがあるるので遂に見兼ね二十七日町議某々氏等は青沼町長を訪ひ断乎たる決心を示し覺醒を促す處起因する不公平なやり方が多いのである。

當問題となつてゐるが、町當局としては切角提出した案が反対される様では面白に關する事となるので議員に對し熱心な諒解運動を行つてゐるので議員は試しにやらして見ようといふ空氣で平署から係官出張檢査前に老人の死体が漂人は當時住所不定賣ト芳賀郡清原大字水室生郎(セミ)と言ひ二十六時頃孤獨を悲觀し厭世げたものと判明した。

甘夕
八
日刊
東洋
新報
日本
支那

編輯
発行
人岡田弘成
印 刷 人 岡 田 弘 成
福島縣石城郡平町結屋町十四
刷 所 加納活版所
福島縣石城郡平町結屋町十四
發 行 一部金或錢一ヶ月金全拾錢社
廣告料 一行十四四字語五拾錢
▲日刊 (日曜、祭日) 休刊

勿來町が多年の希望であつた勿來驛前より勿來の關趾への登山道は漸く願望成つて目下匡事業として四分三縣費、四分一地元青沼鋒太郎氏が平町長に就任以

骨沢か
町長に警告
な人事行政
提案通り町會を通過し
るであらうと案せられ
孤獨を悲見して
投身自

初來關の

町會議員硬骨派が
斷然青沼町長に敬言告

になつたものゝ如くであるから
提案通り町會を通過し實施され
るであらう。此案せられてゐる。

